

## 29. 福岡県てんかん地域診療連携体制整備事業 2025 年度活動報告

福岡県てんかん治療医療連携協議会委員長  
九州大学病院 脳神経内科 重藤 寛史

### 1. 概要

てんかんはあらゆる年齢に生じ、様々な病因があり、予後も様々である。小児領域で多く診断される「てんかん症候群」は多くの病因遺伝子が同定されつつあり、遺伝子異常を念頭に抗てんかん発作薬の選択を行うようになってきている。高齢発症てんかんは、高齢者が増加するに従い増加することが予想され、認知症との関連が論じられるようになってきている。小児科から成人科への移行期医療においては、てんかん重積に対する対応が小児科と成人科で異なり、小児科においては外来診療を担当している医療機関が対応することが多いのに対し、成人科ではそれが可能とは限らないため、なかなか移行が進まない現実がある。移行においてのトラブルを減ずるためには、小児の時期から移行を念頭にいた体制づくりを行う必要性が明確になりつつある。脳外科においては緩和治療としての視床前核刺激療法を行う施設が増えつつある。精神科においては、発作を抑制するだけでなく、てんかんに起因する精神症状への対応の必要性が高まっている。このように、小児科、脳神経内科、脳神経外科、精神科の多科連携と、他科のてんかん診療に対する知識がますます必要になってきている。福岡県てんかん支援拠点病院では、もともと診療科の連携は良好であるが、今後も合同カンファレンス、脳波勉強会、院内のてんかん診療運営委員会を通じて連携体制を強化していく。

福岡県は福岡市とその周辺地域にてんかん支援ネットワーク施設とてんかん専門医が集中しており、それ以外の地域では、大都市である北九州市を含め、てんかん関連病院が少ない現実がある。てんかん患者はどの地域の学校や施設にも存在するので、この不均衡をどのように解消していくかが課題である。教師はじめ医療関係者以外が投与できる抗てんかん重積口腔用液が出現したことにより、学校や施設におけるてんかん発作対応への関心が高まっていることを実感するが、今年度は「福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室」の協力や拠点病院事務員の広報スキルの習熟により、「てんかん総合講座」や「てんかん支援拠点病院研修会」への教師、福祉関係者の参加人数を大幅に増やすことができた。今後ともこの流れを発展させていく。

活動報告書の作成時点では予定の段階であるが、今年度はパープルディの活動と、それに合わせた市民公開講座を行う予定にしている。

### 2. 福岡県のてんかん診療体制

#### 1) 九州大学病院のてんかん支援拠点病院としてのてんかん診療体制

九州大学病院では、新患・再来患者に対して、てんかん診療に関わる複数の医師やコメディカルとともに2週に1度の「てんかん脳神経内科カンファレンス」を行い、てんかんの診断や治療方針の確認を行っている。これは、ひとりの医師だけの判断で誤った診断をしてしまわないようにするためには重要な点である。また、コメディカルも一緒にカンファレンスを行うことにより、医師の教育だけでなく、コメディカルの教育にも役立っている。従来通り、他施設もWEBにて参加できる「てんかんカンファレンス」を月1回開催し、難治性てんかんに対する抗てんかん発作薬治療、てんかん外科治療において最適な治療の選択ができるような体制をとっている。院内では「てんかん医療運営委員会」を定期的で開催し、多科の医師、医療連携室、検査部やリハビリのメンバーとともに、てんかん医療で問題になっている移行期医療や精神症状をもつてんかん患者についての対応を検討している。

てんかん医療に対する教育の場として、てんかんや脳波の初学者に対する「脳波判読セミナー」を開催している。また、脳波への理解を深める勉強会として、九州大学病院だけでなく、福岡大学病院小児科、福岡大学病院検査部、福岡大学筑紫病院脳神経内科、福岡大学筑紫病院小児科、福岡こども病院小児科、小倉医療センター精神科など県内の医療施設が参加する「福岡臨床と脳波懇話会」も引き続き定期的にWEB開催している。

#### 2) 福岡県てんかん治療医療連携協議会

福岡県てんかん治療医療協議会委員会を7月14日と2月3日（予定）の2回開催し、活動状況の報告、今後の活動に関する意見交換を行った。

てんかん支援ネットワークに登録している全施設に問い合わせを行い、現時点でネットワークとして稼働している施設の確認を行った。その結果、福岡市および福岡市周辺地域にネットワーク施設が集中していること、新幹線が通っている県の北側・西側および福岡市へのアクセスがよい筑豊地区ではネッ

トワーク施設があるが、県東の京筑地域ではネットワーク施設が皆無であることが浮き彫りになった。また、てんかん専門医の分布を調べると、福岡市および福岡市周辺地域に集中していて、その他の地域は専門医が少ない、あるいは科によるばらつきが顕著であり、特に精神科のてんかん専門医に関しては県西地区で不在であった。北九州は人口が多いにも関わらず、県内のてんかん専門医 52 人中 5 人しかおらず、脳神経内科と精神科の専門医は不在であった。これらのことは、てんかんに関心を持つ医師の偏在は人口の分布だけでは説明がつかないことを示唆しており、今後とも、福岡市・福岡市周辺以外の地域の医療従事者に対する啓発活動が必要であることが再度確認された。

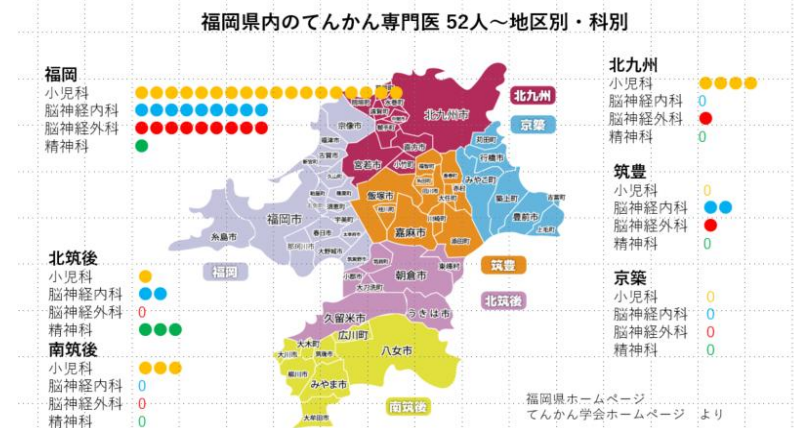
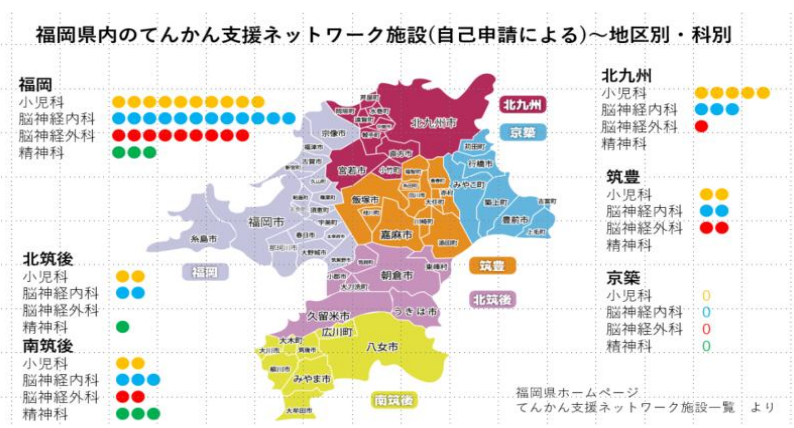
「てんかん支援拠点病院研修会」に関しては、てんかん支援拠点病院に指定された直後の第 1 回では福岡県難病診療連携拠点との合同研修会で参加者は 165 人であったが、てんかん支援拠点病院単独で行った第 2 回では WEB 参加者 35 人と少なく、第 3 回では福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室から県内各施設や学校に通知をすることにより WEB 参加者とオンデマンド参加者合わせて 198 人と著増した。第 4 回となる今年度も 232 人の参加があった。県のもつ各方面へのネットワークが強大であり、県の協力が重要であることが再認識された。

日本てんかん協会福岡支部との協働で行っている「てんかん総合講座」は、2023 年第 34 回てんかん総合講座の参加者は 67 人であった。2022 年まではてんかん協会が単独で行っていたため有料であったが、2024 年第 35 回では参加者 212 人と著増し、今年度に至っては参加者 341 人に達した。総合講座は研修会と異なり対面だけで行っているため、会場へのアクセスが大切であるが、今年度は交通の便が不便なところしか会場をおさえることができず、しかも駐車場も数台しか停められない会場であったことを考えると驚異的な参加人数であった。来年度は交通の便が良く、広い会場を既に予約している。

### 3. 活動状況

#### 1) てんかん治療医療連携協議会委員の

2 名を増員し、以下の委員構成となった。



九州大学病院	重藤寛史	保健学部門教授
	磯部紀子	脳神経内科科長
	迎 伸孝	脳神経外科助教
	向野隆彦	脳神経内科助教
	室岡明美	医療連携センター

	(神田奈七 てんかん支援拠点病院事務) (松本文子 てんかん支援拠点病院事務)
久留米大学病院	本岡大道 精神神経科准教授
北九州総合病院	石井雅宏 小児科部長
福岡歯科大学医科歯科総合病院	鳥巢浩幸 小児科・小児神経科科長
飯塚病院	高瀬敬一郎 脳神経内科部長
福岡県精神保健福祉センター	楯林英晴 センター長
福岡市精神保健福祉センター	川口貴子 センター長
北九州市立精神保健福祉センター	小松未央 センター長
てんかん協会	岡本 朗 日本てんかん協会常任理事 吉田あけみ 日本てんかん協会福岡県支部長 熊丸恭子 日本てんかん協会福岡県支部
福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室	谷崎陽子 松田京子

- 2) 2025年度第1回 福岡県てんかん治療医療連携協議会 2025年7月14日  
2025年度第2回 福岡県てんかん治療医療連携協議会 2026年2月3日

- 3) 第1回 てんかん医療運営委員会 2025年7月30日  
第2回 てんかん医療運営委員会 2026年1月9日  
第3回 てんかん医療運営委員会 2026年2月27日

- 4) 福岡臨床と脳波懇話会(月例会)のWEB開催  
第568回 2025年4月16日  
第569回 2025年5月28日  
第570回 2025年6月18日  
第571回 2025年9月24日  
第572回 2025年11月19日  
第574回 特別講演会 2026年2月20日  
第573回 2026年2月18日

- 5) てんかんカンファレンス  
毎月1回(4月18日、5月16日、6月13日、7月4日、8月1日、9月19日、10月24日、11月7日、12月19日、1月30日、2月20日、3月16日予定)

- 6) 第36回 てんかん総合講座 2025年8月4日

公益社団法人日本てんかん協会福岡支部が毎年行っている「てんかん総合講座」を昨年度に引き続き福岡県てんかん支援拠点病院との協働事業として博多市民センターホールにて行った。「てんかんの基礎知識」の演題で福岡山王病院 てんかん・すいみんセンター・脳神経内科の上原平氏、「小児てんかん～診断から移行まで～」の演題で福岡市こども病院 小児神経科の鳥尾倫子氏、「てんかん診療での心理職の仕事～人生の物語を聴くということ～」の演題で長崎医療センター 心理療法室の越本莉香氏の講演が行われた。てんかん当事者にも体験発表をいただいた。福祉関係者を筆頭に、医療関係者、教育関係者、患者本人、患者家族など341人の参加があった。

- 7) 第4回 福岡県てんかん支援拠点病院研修会 2025年10月29日

「小児科におけるてんかん患者への対応」をテーマとした研修会をWEBセミナーにて開催した。北九州総合病院小児科の石井雅宏氏に「市中救急病院小児科におけるてんかん患者への対応」、医療法人徳笑会とくくな

第36回  
**てんかん  
総合講座**  
— 専門職から当事者まで —

日程 2025年  
**8月4日**  
10時～16時

会場 博多市民センターホール 福岡市博多区山王1-13-10  
JR博多駅南口より徒歩21分  
地下鉄 東比呂駅 徒歩15分  
山王公園前 徒歩3分(天神や博多からバスが出てきます)  
※駐車場は少ないので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

参加費  
**無料**

内容 1.「てんかんの基礎知識」  
2.「小児てんかん～診断から移行まで～」  
3.「てんかん診療での心理職の仕事～人生の物語を聴くということ～」

主催 | 公益社団法人日本てんかん協会福岡県支部 協賛 | 福岡てんかん懇話会・社会福祉法人さざなみ福祉会  
福岡県てんかん支援拠点病院 九州大学病院

日本てんかん協会福岡県支部 〒810-0002 福岡市中央区東戸塚3-3-30  
福岡市市民福祉プラザ4階 福岡市精神保健福祉協議会内  
事務総Tel: FAX(自動切替) 092-712-6390  
https://www.jea-net.jp/

福岡県てんかん支援拠点病院 〒812-8502 福岡市東区轟出2-1-1  
九州大学病院内  
事務総(相談窓口)Tel: 092-642-4379  
https://epilepsykyushu-u.ac.jp/

が小児科クリニックの徳永洋一氏に「小児科クリニックにおけるてんかん患者への対応」の演題で御講演いただいた。WEB参加78名、オンデマンド参加154名で、医師、看護師、福祉士、生活支援員、介護福祉士、就労継続支援員、他様々な職種の参加があった。

8) 市民公開講座 2025年3月1日(昨年度開催分)

てんかんは身近な疾患であるということ啓発する意味を込めて重藤寛史氏(福岡県てんかん支援拠点病院・九州大学病院脳神経内科)が「認知症と高齢者てんかん」、チョン・ビン・フィー氏(同小児科)が「小児のてんかん」をテーマに、講演を行った。

9) パープルデイ 2026年3月26日

旧福岡県庁舎のライトアップを行い、隣接するアクロス福岡にて市民公開講座を行う予定。

10) 全国てんかんセンター協議会 2026年3月28~29日(札幌)

支援拠点病院から医師3名、看護師1名、検査部2名、医療連携センター1名が発表あるいは座長を行う予定。

医療・福祉関係者のためのWEBセミナー

### 第3回 福岡県てんかん支援拠点病院研修会

てんかんはメンタルの問題を併存することが多く、また、ストレスや睡眠不足で発作が出やすくなります。そこで今回は、てんかんと精神状態の関係を専門医から学ぶ研修会を開催します。

**日時** 2024年11月6日(水) 19:00~20:15 (WEB入室 18:30~)

**参加費** 無料

**プログラム** テーマ ~てんかんと精神症状~

- 挨拶・司会 重藤 寛史 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 教授、九州大学病院 脳神経内科)
- てんかんとうつ症状 本岡 大道 (久留米大学医学部脳神経精神医学講座 せんかん診療部長 教授)
- てんかんと精神病症状 安元 眞吾 (久留米大学医学部脳神経精神医学講座 准教授)
- 心因性非てんかん発作 増本 政也 (久留米大学医学部脳神経精神医学講座 助教)

**オンデマンド配信** 2024年11月8日(金)~11月29日(金) すべてのお申込み者が閲覧可能です

**福岡県医師会会員の方へ** 第3回福岡県てんかん支援拠点病院研修会では日本医師会生涯教育講座合計「1単位」取得できます ※オンデマンド閲覧のみでは単位取得はできません

右のQRコードまたは下のURLにアクセスし必要事項をご入力の上お申し込みください  
申し込み完了メールが届いたら受付完了となります  
<https://forms.gle/KqCdj7nqHq1vagt28>

福岡県てんかん支援拠点病院 九州大学病院  
福岡県てんかん治療医療連携協議会  
九州大学病院アジア国際医療開発センター

お問い合わせ先 九州大学病院内  
福岡県てんかん支援拠点病院事務局  
E-mail: epilepsy@jimu.kyushu-u.ac.jp

福岡県てんかん支援拠点病院

### 市民公開講座

タイトル 認知症と高齢者てんかん  
小児のてんかん

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 重藤 寛史 先生  
九州大学医学部 小児科 成長発達医学分野 チョン ビンフィー 先生

日時 2025年3月1日 10:00~12:00 (開場 9:30~)

会場 JR博多駅 JR博多シティ会議場〈大会議室10F〉  
アクセス案内: (博多口) 阪急百貨店エレベーター〔B3F~屋上〕  
・中央エレベーター〔B1F~10F〕  
上記2ヶ所のエレベーターをご利用ください。  
※10:00以前のご利用は、  
〔博多口〕阪急百貨店エレベーターをご利用ください。

定員 130名(先着順)  
対象 どなたでもご参加いただけます

申込方法 右のQRコード または下の URL にアクセスしてお申し込みください  
URL: <https://forms.gle/STa8672akZicVVFt9>  
Google フォームの参加申込完了が表示されたら 受付完了となります  
(複数名で参加される場合は 必ず人数分お申し込みください)  
(上記申し込みが正確な方は 当日受け付け致します)

参加申込締切 2024年11月5日(火)まで

お問い合わせ先 九州大学病院内  
福岡県てんかん支援拠点病院事務局  
E-mail: epilepsy@jimu.kyushu-u.ac.jp

TEL: 092-642-4379  
E-mail: epilepsy@jimu.kyushu-u.ac.jp (申込専用)  
URL: <http://epilepsy.kyushu-u.ac.jp>